

2013年漁業センサス結果 鳥取県(要約)

[海面漁業調査 漁業経営体調査－平成25年11月1日現在－]

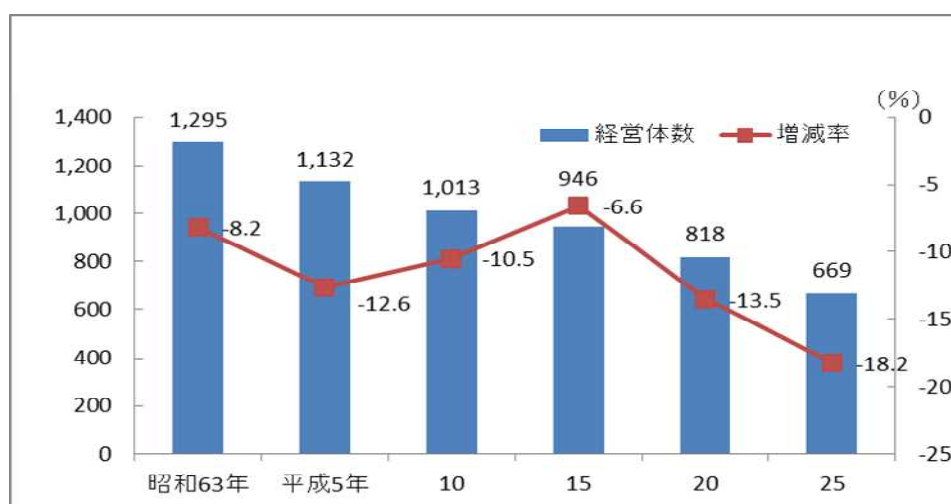
この調査は、統計法に基づき農林水産省が実施しているものであり、我が国の漁業の生産構造・就業構造を明らかにするために、昭和24年から開始し、現在は5年ごとに実施しており、今回の調査は通算13回目となります。

1 漁業経営体

(1) 漁業経営体数

漁業経営体数(個人、会社、漁業協同組合、漁業生産組合及び共同経営)は669経営体で、2010年調査(818経営体)に比べ149経営体減少(△18.2%)し、昭和63年(1295経営体)からの25年間で約半減した。

[漁業経営体数の推移]



(注)漁業経営体とは、過去1年間(平成24年11月1日～平成25年10月30日)に販売することを目的として、海面で水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう。

(2) 経営組織別

漁業経営体を経営組織別にみると、個人経営体は621経営体(全体に占める割合92.8%)、会社が38経営体(同5.7%)、共同経営が2経営体(同0.3%)であった。

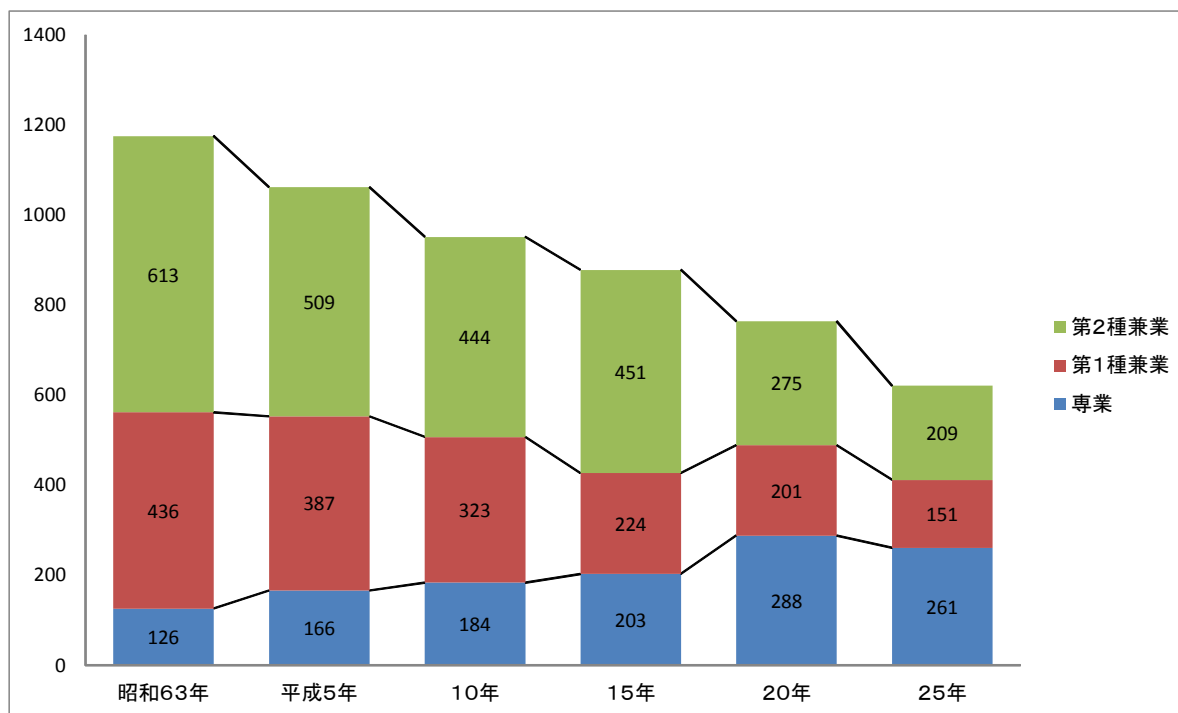
[経営組織別経営体数の推移]

区分	経営体数			対前回増減率(%)		H25年 構成比(%)
	H15年	H20年	H25年	H20年	H25年	
総計	946	818	669	△13.5	△18.2	100.0
個人経営体	878	764	621	△13.0	△18.7	92.8
会社	44	43	38	△2.3	△11.6	5.7
漁業協同組合	3	2	4	△33.3	100.0	0.6
漁業生産組合	-	1	-	-	-	-
共同経営	17	8	2	△52.9	△75.0	0.3
その他	4	-	4	-	-	0.6

(3) 専業業別

個人経営体（621 経営体）を専業業別で見ると、専業が 261 経営体（構成比 42.0%）と最も多く、次いで第2種兼業（漁業が従）が 209 経営体（同 33.7%）、第1種兼業（漁業が主）が 151 経営体（同 24.3%）の順となり、前回調査と比べていずれの経営体も減少している。

[専業業別の推移]



(4) 漁業階層別

漁業経営体数を漁業階層別にみると、沿岸漁業層では定置網を除くすべての階層で減少し、全体では 138 経営体減少（△18.2%）した。

中小・大規模漁業層では、大規模漁業層に増減はなかったが、「10～50 トン未満」が 7 経営体減少（△35.0%）するなど、中小・大規模漁業層全体で 11 経営体減少（△19.0%）した。

[経営体階層別経営体数の推移]

区 分		経 営 体 数			対 前 回 増 減 率 (%)			
		H15年	H20年	H25年	H20年	H25年		
総 数		946	818	669	△13.5	△ 18.2		
沿 岸 漁 業 層	小 計	877	760	622	△13.3	△ 18.2		
	漁 船 非 使 用 (※)	35	45	44	28.6	△ 2.2		
	無 動 力 漁 船 の み	4	1	0	△75.0	△ 100.0		
	1ト ン 未 満 (船 外 機 付 漁 船 含 む)	308	266	230	△13.6	△ 13.5		
	1 ～ 3 ト ン 未 満	146	131	97	△10.3	△ 26.0		
	3 ～ 5 ト ン 未 満	292	259	204	△11.3	△ 21.2		
	5 ～ 10 ト ン 未 満	83	50	39	△39.8	△ 22.0		
	定 置 網	3	2	3	△33.3	50.0		
	海 面 養 殖	6	6	5	0.0	△ 16.7		
中 小 ・ 大 規 模 漁 業 層	小 計	69	58	47	△15.9	△ 19.0		
	動 力 漁 船 使 用	中 小 漁 業 層	10 ～ 50 ト ン 未 満	26	20	13	△23.1	△ 35.0
		50 ～ 100 ト ン 未 満	32	30	23	△6.3	△ 23.3	
		100 ～ 1000 ト ン 未 満	9	6	9	△33.3	50.0	
	大 規 模 漁 業 層	1000 ト ン 以 上	2	2	2	0.0	0.0	

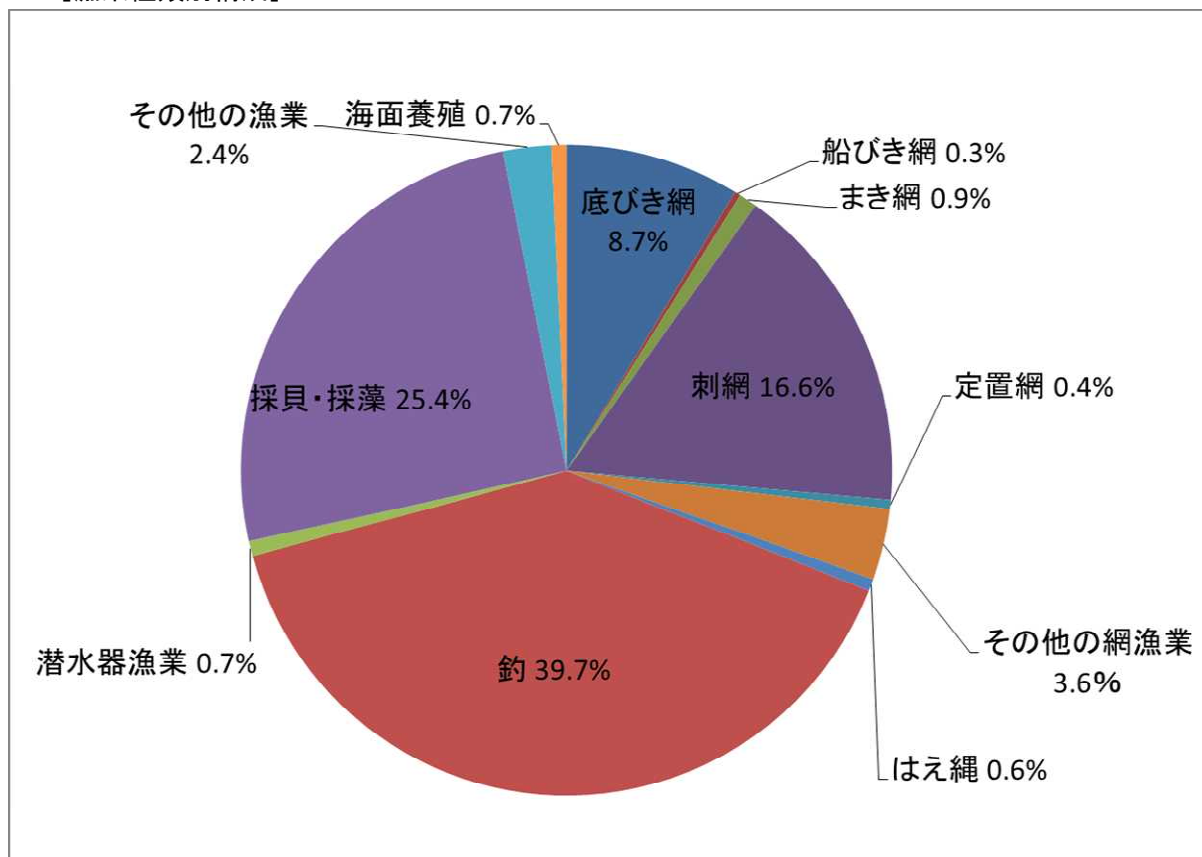
(※ 地引き網を含む)

(5) 漁業種類別

漁業種類別に見ると、最も多いのは「釣」が265経営体（全体に占める割合39.7%）で、次いで「採貝・採藻」が170経営体（25.4%）、「刺網」が111経営体（16.6%）となっており、この3種類で全体の約8割を占めている。

前回調査と比較すると、「釣」が60経営体減少（△18.5%）、「刺網」が53経営体（△32.3%）、「底びき網」が20経営体減少（△25.6%）している。

[漁業種類別構成]



[漁業種類別経営体数の推移]

区 分	経 営 体 数			対 前 回 増 減 率 (%)		構 成 比 (%)	
	H15年	H20年	H25年	H20年	H25年	H20年	H25年
総 数	946	818	669	△13.5	△ 18.2	100.0	100.0
底びき網	112	78	58	△30.4	△ 25.6	9.5	8.7
船びき網	4	6	2	50.0	△ 66.7	0.7	0.3
まき網	3	8	6	166.7	△ 25.0	1.0	0.9
刺網	187	164	111	△12.3	△ 32.3	20.0	16.6
定置網	3	2	3	△33.3	50.0	0.2	0.4
その他の網漁業	20	20	24	0.0	20.0	2.4	3.6
はえ縄	3	3	4	0.0	33.3	0.4	0.6
釣	392	325	265	△17.1	△ 18.5	39.7	39.7
潜水器漁業	9	9	5	0.0	△ 44.4	1.1	0.7
採貝・採藻	159	164	170	3.1	3.7	20.0	25.4
その他の漁業	48	33	16	△31.3	△ 51.5	4.0	2.4
海面養殖	6	6	5	0.0	△ 16.7	0.7	0.7

2 漁業就業者数

漁業就業者数（15歳以上）は、1,320人（男性1,286人、女性34人）であった。これは、県の15歳以上の人口497,544人（平成25年10月1日推計人口）の0.3%に当たる。

このうち、男性の漁業就業者の構成比を年齢階層別にみると、40歳代以上ではポイントが下落した一方、20歳代から30歳代の階層ではポイントが上昇している。

[漁業就業者数の推移]

区 分	H25年		参 考 値				
	漁業 就業者数	男性就業者の 構成比(%)	H20年		H15年		
			漁業 就業者数	男性就業者の 構成比(%)	漁業 就業者数	男性就業者の 構成比(%)	
総 数	1,320	-	1,568	-	1,540	-	
うち	計	1,286	100.0	1,515	100.0	1,489	100.0
性	19 歳 以 下	10	0.8	16	1.1	6	0.4
	20 ~ 29 歳	111	8.6	111	7.3	67	4.5
	30 ~ 39 歳	143	11.1	142	9.4	110	7.4
	40 ~ 49 歳	168	13.1	256	16.9	261	17.5
	50 ~ 59 歳	305	23.7	359	23.7	392	26.3
	60 歳 以 上	549	42.7	631	41.7	653	43.9

3 漁船隻数

漁業経営体が平成25年11月1日現在で所有する漁船の隻数は756隻で、前回に比べ187隻減少（△19.8%）した。漁船種類別にみると、動力漁船が122隻（△22.1%）、船外機付漁船が63隻（△16.5%）無動力漁船が2隻（△25.0%）の減となっている。

[漁船隻数の推移]

